

5月20日

「野鳥を観る会」、桜川河口から蓮河原を、新築された国民宿舎「水郷」の方へ歩く。日本野鳥の会、茨城支部長の川崎惟男先生が指導して下さいました。参加者二十三名。大和田さんは、二人のこどもと、もう一人の赤ん坊を背負って参加しました。この日の様子については、上原さんが書いて下さいましたのでご参照下さい。

お知らせ

一、四十八年度会費を、早めにお納め下さい。
年額五百円

一、諸物価値上りの折、桜川の発行費も七万円になりましたので、会員の方は一部二百円以上、一般の方は百五十円としたらと思えますがいかがでしょうか。

四十八年五月三十日現在

正会員 百十五名
賛助会員 十五名

〔参考資料〕

北筑波稜線林道に 関する五つの質問

一、稜線林道は、どこからどこまで建設される予定ですか。

答 この林道は、新治郡八郷町湯袋から上曾山、足尾山の稜線を伝い、加波山の中腹を横切って笠間市吾国山のユースセンターまで建設され、全長二十三キロ余り。(巾四メートルのアスファルト道路で、数百メートルおきに待避所を設け、バスも通れるように設計されています。) 将来は、表筑波スカイラインと直結されるものと思われまます。

二、林道建設の目的は、なんですか？

答 一つには造林や伐採のためですが、それより観光開発の方が重要な目的とされています。現在林道沿線の笠間市、八郷町、岩瀬町、真壁町の市長や町長などが主な構成員となって北筑波稜線林道開設促進期成会が結成されており、林道の建設によって、筑波、笠間から水戸、大洗、さらには舞前山、太子方